

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報倫理 Information Ethics		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(上級ビジネス実務士必修、 上級情報処理士必修) 特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
稲見 崇司	本館2階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
高度情報化社会の特性を理解すると共に情報収集及びその利用上の問題点について学習し、インターネット（サイバースペース）などでの倫理的諸問題（コンプライアンス、知的財産権、個人情報の保護、セキュリティ等）への対処法を習得し、臨機応変な自らの判断力を養う授業とする。				
授業の目標				
①高度情報化社会の特性を踏まえた情報の収集や利用ができるようにする。 ②高度情報化社会での業務上のコンプライアンスを遵守できるようにする。 ③著作権等の知的財産権に関し、問題点を理解したうえで適切に対処できるようにする。 ④個人情報保護に関し、その基本を理解したうえで適切に対処法を身につけることができるようにする。 ⑤サイバースペース社会と現実社会での共生の方法を自ら見出し、臨機応変に適切な対応ができるようにする。				
授業の方法				
基本的なネットワークの姿と情報倫理的な対応について、主にビデオ視聴により、各題材ごとに問題点を指摘し、学生自らが考え、記述し、主張する場を設けて、正しい判断をお互いが見つけあえる機会を作り、嘘の情報に惑わされない強固な情報倫理感覚を身につけていくにはどうすればよいか考えあう。				
学習の成果（学習成果）				
①著作権等の知的財産権、個人情報保護や業務上のコンプライアンスの遵守、高度情報化社会の特性を踏まえた情報の収集や利用等、情報社会の倫理的諸問題に適切に対応することができる。 ②サイバースペース社会で起こる諸問題を、現実社会と照らし合わせて、より具体的に適切な対応をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方、受講の心得の指導)			
第2回目	学習ノート配布 ネットケット①：パソコンの管理からネットワーク管理へ			
第3回目	ネットケット②：メール等でのコミュニケーションのモラルとコピペ問題等の認識について			
第4回目	インターネット社会の自由と規制論争			
第5回目	情報利活用と監視社会の拡大 メディアの対応			
第6回目	個人情報保護とは？（保護・管理の基礎知識）			

第7回目	個人情報保護についての問題提起（ケースドラマで考える）		
第8回目	個人情報保護についての問題解決（各ケースの解説）		
第9回目	個人情報保護の過剰反応と一般社会生活 サイバースペース法等ネットワーク法規について		
第10回目	著作権の基本 著作権裁判例 ネット活用の自由と規制の問題		
第11回目	リミックス 著作権を考え直す クリエイティブコモンズの考え方		
第12回目	ダビング10への道 リナックス オープンソース より自由な技術開発への進化		
第13回目	サイバー社会の事件実例を考えあう 最近のインターネット関係の事件・ニュース SNSの利用		
第14回目	「縁側空間で考える」場の提唱		
第15回目	生命倫理との対比：医の倫理と情報の倫理の対比でコミュニケーションのあり方を学ぶ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			
レポート	20%		2回目の授業でメモ用紙を配布し、記名の上回収するが、その後の授業の授業時間内に、授業の内容について指定した部分を記述し提出する。毎回の全ての記述欄を充当していることで満点とする。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容（態度含む）			
その他	80%		14回目の授業で、指定した課題のレポートを記述し提出する。レポート作成時は各自が作成したノートとメモ用紙のみ参照可とする。各自が培った情報倫理の見識で、全ての記述欄を適切に充当していれば満点とする。
教科書と参考図書			
各回ごとに該当部分のプリントを配布するなどして特にテキストは使用しない。			
履修上の留意点・ルール			
必ず当授業用の独立したノート(他の科目と一緒にのノートとしないこと)を各自使用し、毎時間しっかりと授業内容を記録すること。			